



安倍、福田首相と2代つづいて辞任、麻生新政権がスタートしました。このこと自体が自公政権の行き詰まりをしめすものでしょうが、憲法9条をめぐる危険な動きは、いささかも衰えていません。

来年1月には、海上自衛隊がインド洋で給油をするための新テロ特措法が期限切れを迎えます。

戦争でテロはなくせたか

憲法9条でこそ平和の国際貢献

福田首相につづいて、麻生首相も、「世界各国がテロとたたかっている中で、日本だけが撤退できない」といっています。

そして、いつでもどこにでも、自衛隊を送り出せる「海外派兵恒久法」の制定が企てられ、自民・公明の与党プロジェクトチームの会合が重ねられています。

麻生首相集団自衛権議論を指示

麻生首相は9月30日、自民党の中山・憲法審議会長らと会談。海外での武力行使を可能にする集団的自衛権の行使について、「国会に設置されている憲法審査会を早く動かし、与野党一体となって国民のために議論してほしい」とのべました。憲法審査会は、昨年5月に強行された国民投票法（改憲手続き法）に基づき機関です。

東大和

9条の会

だより

No.15

2008年10月1日

東大和9条の会

連絡先=東大和

市職員組合気付

電話・FAX

565-0866

改憲準備に52億円

国民投票に向け概算要求

総務省は09年度の概算要求で、昨年5月安倍首相のもとで成立した改憲手続き法に国民投票の施行の準備に必要な経費として、52億2千万円を要求しました。警戒が必要です。

アフガンへの武力行使から7年、戦争でテロはなくなつたでしょうか。報復の連鎖は拡大するばかりです。

「戦争はしない、戦力は持たない」「国際的なもめごとは、平和的に解決する」

憲法9条を、日本はいまこそ、輝かせるときではないでしょうか。アメリカいいなりの日本から、憲法の理想を国際貢献に生かす日本を、私たちは選択したいものです。

改憲 せめぎあい 護憲 08年8~9月のメモ

- 8・27 アフガニスタンで拉致されたペシャワール会の伊藤和也さん遺体で発見。
- 民主・前原副代表「アフガンで航空自衛隊活動を」と言及
- 8・29 防衛省が09年度予算で防衛関係費2・1%、1023億円増の概算要求を決定。
- 9・01 福田首相が突然の辞任表明
- 9・02 朝日新聞世論調査 海上自衛隊のインド洋派兵の継続「必要でない」50%、「必要だ」37%
- 9・05 2008年版「防衛白書」を閣議で了承
- 9・09 自民・公明がインド洋の給油継続を合意
- 9・10 全国123駅に派兵継続宣伝ポスターをはりだす
- 9・11 9・11テロから7年。「イラク派兵の航空自衛隊を年内撤収」を発表
- 9・13 全国九条の会主催で「名古屋高裁判決と派兵恒久法」の学習会
- 9・14 自民総裁選のテレビ番組で5候補そろって天皇の靖国参拝を求める。石破氏は「総理として憲法改正をする。当然のことだ」、集団自衛権については「認めていかなければならない」と発言
- 9・19 海上自衛隊によるインド洋での給油継続の新テロ特措法延長法案を閣議決定
- 9・24 麻生新政権が発足

ノーモア核兵器 受け継ぐ

世界大会報告会



原水爆禁止2008年世界大会は8月4日〜6日、広島でひらかれました。国連をはじめ、34カ国99人の海外代表を含む7500人が参加、2010年の2010年核不拡散条約再検討会議にむけて、国々と草の根の運動の共同を誓い合う場となりました。

東大和からは8人の代表が参加し、その報告会が9月13日、南街市民センターで開かれました(写真)。

報告会では、新しい国際署名に、東大和でも4千筆の署名を目標に取り組もうと申し合わせました。

ジョー・オダネルの「焼き場に立つ少年」の写真を知っているだろうか。

長崎に原爆が落とされた直後、若き米軍兵士ジョー・オダネルは「ざまあみろジャップ！これで戦争は終わりだアメリカに帰れる」と思ったという。被爆直後の長崎の写真撮影を命じられた彼は全く違う思いに取りつかれる。

「真珠湾を攻撃した日本人は鬼のような野蛮人だと思つて闘ってきた。しかし、この地の一般の日本人たちは自分たちアメリカ人によつて未曾有の惨状の中に投げ込まれたのだ、それなのに昨日まで敵であったはずのわれわれにやさしく接してくれる。自分は何と闘ってきたのか？」

彼は軍規を破つてひそかに



ジョー・オダネルの心の遍歴にみる

私用のカメラを携え、「撮つてはいけない」と言われていた「私情を交えた惨状の撮影」を実行した。戦後も長年封印してきたこれらの写真を年老いてきた彼は、ついに公表する

この辺の彼自身の思いは、何冊かの書籍にあるが、インターネットで知りたければ「誇りとは何か」で検索すれば写真も文章も現れる。「写真の被害者たちに会いたい」と日本を訪れた彼の体験と思いは「原爆の夏 遠い日の少年」で検索すれば読める。

被爆直後の長崎を歩き回った彼自身も放射能障害と思われる多くの症状にさいなまれるが、アメリカ政府は認めようとしない。

彼はたたかう。そして死期を悟つた彼は息子に「たたかいの跡継ぎ」を願い、昨年85歳で没したが息子は見事に受けて今日に至っている。

私は思う。ジョー・オダネルの心の遍歴の中に「日本国憲法9条の精神を守り広げろ」、「核兵器を廃絶に持って行く」ためのヒントと行動の糧があると思う。

2008.8.15

井口 正雄(蔵敷)

「焼き場に立つ少年」

ジョー・オダネルのコメントから

1945年9月―佐世保から長崎に入った私は、小高い丘の上から下を眺めていました。

10歳くらいの少年が歩いて来るのが目にとまりました。おんぶひもをたすきにかけて、幼子を背中にしよっています。重大な目的を持ってこの焼き場にやってきたという強い意志が感じられます。しかも足は裸足です。

少年は焼き場のふちに、5分か10分も立っていたでしようか。おもむろに白いマスクの男たちが少年に近づき、ゆっくりとおんぶひもを解き始めました。この時私は、背中の幼子がすでに死んでいるのに初めて気づいたので。

まず幼い肉体が火に溶けるジューという音がしました。それからまばゆいほどの炎がさつと舞い立ちました。真っ赤な夕日のような炎は、直立不動の少年のまただよびない頬を赤く照らしました。

その時です、炎を食い入るように見つめる少年の唇に血がにじんでいるのに気がついたのは。少年があまりきつく唇を噛みしめているため、唇の血は流れることもなく、ただ少年の下唇に赤くにじんでいました。

夕日のような炎が静まると、少年はくるりときびすを返し、沈黙のまま焼き場を去っていきました。



知らぬ間に、日本国憲法9条の大切さを再確認しました。

若者の間で話題の「蟹工船」を上映
南衛・立野・中央9条の会では賛同者を増やすことが大事だと話し合っています。その中で、活動には楽しさも必要と「映画をみる会」を行うことになりました。その第1回として9月14日に中央公民館で、いま若者の間で話題の「蟹工船」(山村総監督 1958年)をみました。他地域からの参加もあって約20名が鑑賞しました。液晶プロジェクターを使い大画面で映写し一部雨が降っている画面でしたが、制作当時の雰囲気を感じられました。9月23日の会合では「イラク戦場からの告発」をみました。マスコミが伝えないイラクの実態を見て、戦争の酷さを感じて、知らぬ間に、日本国憲法9条の大切さを再確認しました。

8月9日に「三たび許すまじ」のつどい

東大和9条の会ピースサイン・桜が丘は、8月9日に「三たび許すまじ」のつどいを開催。井上ひさしの「父と暮せば」を鑑賞しました。夏の夜、9人の出席でしたがごもごも、宮沢りえの好演、平和な未来を願うラストの会話に「胸をあつくした」などの感想をのべあいました。桜が丘では、「イラクへの自衛隊派遣は違憲」―名古屋高裁判決の全文を読む会開催を計画しようとして準備しています。

市史編さんの裏話
ユニークなつどい

芋窪・蔵敷・奈良橋憲法9条の会は9月28日(日)、蔵敷公民館で「東大和市史編纂うらばなし」をひらきました。つどいでは、DVD「イラク戦場からの告発」(イラクの子どもを救う会・西谷文和さん製作)も上映しました。会はこの夏、幟ばたと旗竿を購入、宣伝にうって出たいと意気盛んです。

◇10月11日にミニコンサート
上北台9条の会は10月11日(土)午後2時から、めぐみ教会でミニコンサートを計画しています。

9条の会 東京連絡会 10月24日に発足集会

都内800余の会を熱くつなぐ

都内の九条の会は、800をこえるといいますが、もつとあるかもしれません。10月24日(金)に九条の会東京連絡会が発足することになりました。



(左から) 伊藤真、アーサー・ピナード、小森陽一の各氏

10・24 発足集会

とき 10月24日(金) 18:30~
ところ 豊島公会堂(みらい座いけぶくろ) 池袋東口から徒歩5分
かいひ 1000円

賛同挨拶：伊藤真さん、アーサー・ピナードさん、小森陽一さん

この連絡会は、あくまで情報共有と連絡のネットワーク。何か指示を出したりするような上位機関ではありません。東京にある800余の九条の会がネットワークでつながることで、おたがいの「草の根」力を強めることをめざします。

東大和9条の会からも

「九条の会東京連絡会」の結成呼びかけ人には、東大和9条の会代表呼びかけ人の戸沢充則さん(元明治大学学長)も名を連ねています。

東京連絡会の発足を契機に、近隣の九条の会とも交流を深め、学びあい、9条を守る草の根の力を大きくしていきたいものです。

東大和市平和都市宣言

恒久平和の実現と、核兵器の廃絶は、全人類共通の願望である。

世界の世論の高まり、各国の相互理解により、核兵器の廃絶に向けて曙光がみえてきたとはいえ、依然として地球上には多くの核兵器が蓄えられている。

世界で唯一の核被爆国の国民として、また、国際社会の平和と協調を理念とする憲法を持つ国の国民として、人類の安全と幸福のために、地域紛争を含むすべての戦争の防止と、あらゆる核兵器の廃絶を心から願うものである。

ここに平和を愛する全世界の人々と手を携え、戦争と核兵器のない世界の建設に向けて努力することをあらためて誓い、東大和市が平和都市であることを宣言する。

平成2年10月1日
東京都東大和市

63周年の夏
わが街から平和の発信
東大和市のとりくみから

終戦から63周年の8月15日。東大和市は、「平和市民のつどい」を桜が丘の都立南公園平和広場で夕方ひらきました。

米軍機の機銃掃射や爆弾がさく裂してできた無数の穴が外壁に残る旧変電所を一般公開。平和広場では、東大和少年少女合唱団、国立音大の学生たちが野外コンサート。平和のうたごえを発信しました。



平和文集を発売

東大和市は、今年も『平和文集』を発売しました。(写真)

戦争体験を語り継ぎたいと、市内の31人のお年寄りのみなさんが原稿を寄せています。

文集の発売は、今年で6冊目。一文字一文字に、平和への願いが込められています。文集は市の企画課で無料配布しています。

10月1日は

「東大和市平和都市宣言」18周年

東大和市が平和都市宣言をしてから18年を数えます。市は、平和文集の発刊や原爆パネル展など毎年、地道な取り組みをしています。憲法9条を守り生かすことと一つに、平和都市宣言を輝かせたいものです。

1881(明治14)年千葉卓三郎が当時の神奈川県北多摩郡奈良橋村の鎌田喜三郎宅に約4か月間滞在中、次男喜十郎に大きな影響を与え、死に水を取ったとも言われています。

喜十郎は、結核に侵され25歳の若さで亡くなりました。「千葉先生仙台の人」と自分の墓に刻むよう遺言し、鎌田家累代の墓に刻印されました。



蔵敷 鳥谷 靖

も、五日市憲法草案作成の話をしたのであろうと想像を広がります。もちろん、東大和市史には記述されていません。これからの調査に、期待がかかります。



五日市憲法草案の抜粋の碑の前で
(2008年5月)

「自治改進党」結成大会には東大和から内野左衛門ら6名が参加しています。同年3月の演説会にも内野は参加し南多摩の民権リーダー町田の石坂昌孝と親ぼくを深めています。

いま、私たちが墓前に立つと、彼らと話が出来るとような気がします。

卓三郎が鎌田家に滞在中、「大酒のみで坂本龍馬が好きだった」(鎌田茂子氏談)長男訥郎と

一方、東大和では卓三郎が訪れる以前から、蔵敷村・内野左衛門、芋久保村・川鍋正成、狭山村・宮鍋庄兵衛らをリーダーとする人々が活躍していました。

第4回 三多摩初の民権結社も

ひらかれた、

町田市立自由民権資料館を見学した際、三多摩で最初の民権結社は、町田野津田村の「積善会」ではなく東大和の蓮華寺(現在地でなく多摩湖が出来る前の蓮華寺)で1887(明治11)年1月結成された「衆楽会」だと確認出来ました。(つづく)